

13009 基礎演習 a Underclassmen Seminar		1 年次～ 前期 2 単位																	
担当者	石田 隆雄	履修可能学科	Pe必																
		関連資格																	
サブタイトル	人の発達の筋道とつまずきから自分を知る																		
授業内容 ・ ねらい	<p>私たちは、保育や教育活動を通して子どもの成長を支援しています。この時、人の発達の筋道とつまずきを理解することは、子ども達への適切な支援を考える上で必要不可欠です。</p> <p>この講座では、人の発達の筋道とつまずき等について理解を深めていきます。そしてこれらの検討を進めながら、大学での勉強の仕方、課題意識の持ち方、自分で考える力、そして自己表現の仕方等を訓練していきます。（※ここで学んだ発達の基本的押さえは、障害児教育Ⅰや児童教育特講、児童教育演習で発展させていく予定です。）</p>																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>①大学での学び方</td> <td>⑨発達検査について</td> </tr> <tr> <td>②問題意識の持ち方と自己表現の工夫</td> <td>⑩青年期の嵐と課題</td> </tr> <tr> <td>③発達とつまずき</td> <td>⑪青年期の発達課題と自我の発達</td> </tr> <tr> <td>④ピアジェの発達段階</td> <td>⑫エリクソンとアイデンティティー</td> </tr> <tr> <td>⑤ピゴツキーの発達と最近接領域発達</td> <td>⑬アドラー心理学と評価</td> </tr> <tr> <td>⑥その他の発達段階説</td> <td>⑭フロムの性格理論</td> </tr> <tr> <td>⑦身体、運動、遊びの発達、</td> <td>⑮自分について考える</td> </tr> <tr> <td>⑧認識の発達、社会性、コミュニケーションの発達</td> <td>自己認識 等</td> </tr> </table>			①大学での学び方	⑨発達検査について	②問題意識の持ち方と自己表現の工夫	⑩青年期の嵐と課題	③発達とつまずき	⑪青年期の発達課題と自我の発達	④ピアジェの発達段階	⑫エリクソンとアイデンティティー	⑤ピゴツキーの発達と最近接領域発達	⑬アドラー心理学と評価	⑥その他の発達段階説	⑭フロムの性格理論	⑦身体、運動、遊びの発達、	⑮自分について考える	⑧認識の発達、社会性、コミュニケーションの発達	自己認識 等
①大学での学び方	⑨発達検査について																		
②問題意識の持ち方と自己表現の工夫	⑩青年期の嵐と課題																		
③発達とつまずき	⑪青年期の発達課題と自我の発達																		
④ピアジェの発達段階	⑫エリクソンとアイデンティティー																		
⑤ピゴツキーの発達と最近接領域発達	⑬アドラー心理学と評価																		
⑥その他の発達段階説	⑭フロムの性格理論																		
⑦身体、運動、遊びの発達、	⑮自分について考える																		
⑧認識の発達、社会性、コミュニケーションの発達	自己認識 等																		
教科書 参考書	参考図書、資料等は、授業の中で紹介します。																		
評価方法	出席状況、提出物、発表内容、期末レポートから総合的に判定します。																		
事前準備学習 履修条件等																			